

要員減らして安全無し！ 安全無くして安心無し！



国労西日本

国労西日本本部

NO. 356

発行責任者 植田 重信
編集責任者 大北 真也

安全・安心輸送の提供には

労働者の安全と心の余裕が必要である！

合理化で安全もサービスも低下している！

しっかりととした要員配置を行なえ！

超勤で生活苦を

補うものではない！

いろいろな施策の実施により職場の要員は減らされていませんか。機械化の施策が急速に進み要員が減って一人一人に負担が増えているのではないのでしょうか。そのことで超勤が増えていませんか。超勤が生活超勤になって身体に負担を与えていませんか。

安全・安心の提供が

出来るように余裕ある

要員の確保を！

あらゆる福利厚生、制度改正がされていますが、運用するにはそれに見合った予備要員が必要です。また、取得率がかり気にして取らせることをしているのではないのでしょうか。

いくらこのような制度があるよと宣伝をしても取る事が出来なければ意味は



ありませぬ。要員に余裕も無いのに入ればかりで職場が回らない(無理やりまわしている)ようなことはありませんか。安全・安心輸送の提供のためには、しっかりと休息をとることも大事です。乗務員もしっかりと休み、運転業務に就くことが利用者の命を預かる身の本当の安全最優先であります。十分な睡眠がとれていないまま乗務することは安全最優先とは言えません。特に乗務員職場では特休買い上げが発生していきま



国労西日本HP



国労西日本 検索

とは何なのか、会社がこれだけの要員がいたら「安全・安心」が提供出来ると定められているものです。それが割るといことは「安全・安心」が提供できないということではないのでしょうか。コンプライアンス違反であります。

時間外労働を考えるべき！

そもそも時間外労働は36協定で決められています。それを超えてはならない事は理解していると思います。その考え方を考えるべきではないのでしょうか。労働者の健康面や利用者の安全・安心を考えるなら、時間外労働は発生しないことが望ましいものです。「ここまですら時間外で働かせても良い」「時間外労働に制限をかける為に縛りをかけている」とか、考え方が違う

のではないのでしょうか。

乗務員行路も超勤ありきと言いますが、発生させないように行路を組むための所要員を算出するべきです。そして私たちは時間外労働をしなくても十分に生活が出来る賃金をしっかりと求めます！しっかりととした要員を求めます！国労に入って共に声をあげましょう！



新入社員の皆さん



私たちは「国労」です

国労に加入しよう

入社おめでとうございます



4月1日(月)桜もきれいに咲き始め、吹田研修センター前にて組合宣伝行動を行いました。当日は地方からも参加をいただき20名を超える組合員が、新入社員に向けて「入社おめでとう」「研修頑張る」「現場で待ってるよ」「国労に入ろう」等の声かけを行いました。用意したビラの受け取りも良く宣伝が出来ました。

組合員の皆さん、新入社員は研修が終了すれば現場へ配属されます。職場での運動が大事です。引続き頑張りましょう！



鉄道の廃止反対！ 鉄道を守るのは社会的責務だ！

JRはもともと国民の財産だった

JRには公共交通を守る責務がある！

再構築協議会が開催された

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が10月1日より全面施行され、JR西日本が再構築協議会の設置を要請し、3月26日に全国初の再構築協議会が広島にて開催されました。



「現行通り運行していただけないがベスト」との発言、新見市の副市長は「高校生や高齢者にとっては、通学や通勤、買い物になくてはならない移動手段。引き続き私たち西日本に輸送を

担っていたと見えていた」として、また中国運輸局長は「議論をしていく中で一定の方向性は見えてくると思う。国の予算の制度を使ったり仕組みを使ったり後押しをしていく」としています。

協議は開始から3年以内をめどに芸備線の再構築について一定の方針を決めていくようになります。2回目の再構築協議会は秋ごろに開催される予定です。そもそも1987年に分割民営化されJR各社が誕生しました。その際にも自民党の公約では、「鉄道を廃止しない」「便利になりません」と宣伝し分割民営化がされました。JRになり、稼働としてスピードアップや無理なダイヤ設定なども行なわれ大きな事故も起こしています。そしてコロナの影響で赤字経営となり新幹線や都市部で稼ぐ事が出来ず、地方ローカル線をピックアップし経営が困難と言いつつあるコロナも落ち着き戻りつつある経営であり本来のように地方の鉄道も守るべきであります。



早めの備えを！ 問い合わせはアベニールへ

郵便は一人でも必ず届けますよ！
同じように民営化された郵政はどうでしょうか。地方に一人でもいたら郵便物もしっかりと届けますよ。なぜ同じように民営化されたJRは利用者の為にそのようなサービスが出来ないのでしょうか。地元では利用者の足、生活の足となっており、病院や買い物、通勤や通学での利用もあります。もっと利用しやすいダイヤ設定にすることも必要ではないでしょうか。ワンマン化の拡大、駅の窓口も縮小や廃止をされてサービスも低下しています。駅のコンプレックスも買物に利用される方も「お客様」という言葉は来させないような施策には反対です！

全国の鉄道が発展すれば町も発展！

鉄道が発展することでも町も元気に旅行などでも活性化されるのではないのでしょうか。車の免許を持たない方も増えており、今後より一層公共交通は必要になります。廃止を考へるよりも、国民の為に走らせる必要があると思えます。

鉄道を守ろう！ 元気な日本へ！

海外からの旅行者も増えており、鉄道利用が増えていきます。世界に誇れる鉄道会社へ！



がん保険にできることを、
もっと。

No.1 アフラック
がん保険・医療保険
保有契約件数
令和3年版 インシチュアランス生命保険統計号

NEW
「生きる」を創る
がん保険
WINGS



1 幅広い保障で
経済的負担をサポート

治療前の検査から治療後の外見ケアまで
幅広い保障でしっかり備えることができます。

2

付帯サービス<アフラックのよりそうがん相談サポート<※1>
(2023年1月23日サービス提供開始予定)>
アフラックのよりそうがん相談サポーターが
さまざまな悩みの解決をサポート

「がんかもしれない」と思ったときから
専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1)アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(<https://www.aflac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>)をご確認ください。

(募集代理店) (アフラックは代理店制度を採用しています)

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5
交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

(引受保険会社)

AFツール 2022-0277-2210030 7月13日

「生きる」を創る。
Aflac

アフラック
東京第二法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1
丸の内センタービル19階
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885